

教育委員会の事務点検・評価報告書

(令和元年度事業分)

令和2年9月

愛西市教育委員会

— 目 次 —

I.	点検・評価について	1
	1 点検・評価の趣旨	1
	2 点検・評価の対象	1
	3 点検・評価の実施方法	1
	4 点検・評価の構成	2
II.	方 針	3
III.	第2次愛西市総合計画施策基本計画体系図	6
IV.	施策体系図	7
V.	評価シート	10
【学校教育課】		
方針1	多様な学習指導の充実	10
	開かれた学校づくり	16
	教職員の資質向上	18
方針2	いじめ・不登校対策の充実	20
	特別支援教育の充実	21
	就学援助費による保護者負担の軽減	23
方針3	教育施設の充実	25
	学校規模の適正化	28
	情報教育の推進	29
【生涯学習課】		
方針4	生涯学習の充実	31
	文化財等の保護・活用	35
	文化・芸術活動の推進	38
	図書館サービスの推進	39

【スポーツ課】

方針 5	スポーツ活動の振興	41
	地域スポーツ指導者の養成	45
	スポーツ団体の育成・自立支援	47
	スポーツ施設の活用の充実	49
VI.	評価委員による意見	51

I. 点検・評価について

1. 点検・評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされました。

本報告書は、同法第26条の規定に基づき、作成いたしました。

教育委員会が管理・執行する事業の取り組み状況について、点検・評価することにより、効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。

2. 点検・評価の対象

市の最上位計画である「第2次愛西市総合計画」では、将来都市像を「ひと・自然 愛があふれるまち」としており、教育分野においては、「一人ひとりの学びを支えるまちづくり」を基本目標に掲げています。

「第2次愛西市教育大綱」においても、総合計画に基づき、家庭、地域、学校等の連携により、本市の子どもたちを健やかに育むこと、生涯学習を通じて学習、文化・芸術活動、スポーツ活動に親しめる環境を充実すること、地域の歴史、文化、祭り等の継承への取組を推奨しており、基本目標を達成するために令和元年度に教育委員会が実施した57項目の事業を対象とし、点検・評価しています。

3. 点検・評価の実施方法

市教育委員会では、市の将来像を実現するために5項目の方針を掲げて、方針に属する施策ごとに評価シートを作成し、施策を構成する主な事業の実施状況について点検・評価を実施しました。令和元年度に実施した各事業の活動を、A～Eの5段階で評価しています。

また、点検・評価にあたっては、有識者で構成される評価委員のご意見をいただいております。

《5段階評価の内容》

- A 目標を十分達成し、期待される効果が得られた（80%～100%）
- B 目標を概ね達成し、ほぼ期待通りの成果が得られた（60%～80%）
- C 目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた（50%～60%）
- D 目標をあまり達成できず、成果が少なかった（30%～50%）
- E 目標をほとんど達成できず、成果が無かった（30%未満）

4. 点検・評価の構成

(1) 基本方針

施策の目指す基本方針を掲げています。

(2) 事業実施状況

施策（事業）の目標達成に向けて、当該年度を含む過去３年間の事業の主な取り組みを記載しています。

(3) 教育委員会による評価（自己評価）

令和元年度に実施した主な取り組みに対する自己評価を、Ａ～Ｅの５段階で記載しています。

(4) 成果並びに今後の課題

令和元年度までの事業の成果と今後の課題を記載しています。

(5) 評価委員による意見

基本方針ごとに委員の方々からいただいた主なご意見を記載しています。

※ ５段階での評価については、令和元年度（平成３０年度事業分）から実施しているため、平成２９年度事業分の教育委員会の評価欄は、「―」となっております。

Ⅱ. 方 針

方針1…豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。

- 多様な学習指導の充実
児童生徒一人ひとりが確かな学力を身につけられるよう、個に応じたきめ細やかな指導を充実します。グループ学習や少人数指導に対応できるよう、教職員の適正配置に努めます。
- 開かれた学校づくり
保護者や学校評議員をはじめとする地域住民の意見を幅広く取り入れ、地域に根差した特色ある開かれた学校づくりを推進します。
また、地域学習によりコミュニティとの連携を進めることで、郷土を愛し、地域に貢献できる児童生徒の育成を目指します。
- 教職員の資質向上
教職員の意識改革や資質・指導力の向上を図るため、授業研究をはじめとする教職員研修の充実を図ります。

方針2…豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。

- いじめ・不登校対策の充実
いじめの未然防止、早期発見のためのアンケート実施や面談の充実を図ります。また、不登校児童生徒の学力向上や社会性の涵養に努めます。
- 特別支援教育の充実
障害のある児童生徒が、地域の学校でそれぞれの個性や能力に応じた教育が受けられるよう、適切な学習支援や自立支援を行います。
- 就学援助費による保護者負担の軽減
経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行い、児童生徒の就学を支援します。

方針3…豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。

- 教育施設の充実
学校施設の老朽化に対応し、必要に応じて計画的な改修工事を実施します。
- 学校規模の適正化
児童生徒の「学ぶ力」や「生きる力」を養うために学校規模の適正化をはじめ、教育環境整備を推進します。

○ 情報教育の推進

学校生活や授業等に活用できるよう、大型提示装置の導入や無線LANの整備を進め、学校におけるICT環境を整備します。また、教員研修等を通じ、ICT教育にかかる指導体制を整備します。

方針4…一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。

○ 生涯学習の充実

市民の様々な学習ニーズに対応できるよう生涯学習の機会を提供し、環境を整えます。また、地域と協力し、次世代を担う青少年の健全育成活動を推進します。

○ 文化財等の保護・活用

郷土の文化を後世に正しく継承できるよう、文化財等の資料収集・整理を行い適正な調査・記録を行います。また、市民が地域の歴史に対し、知識を得、持続発展できる機会の充実に努めます。

○ 文化・芸術活動の推進

一人ひとりが意欲的に豊かな人生を送ることができるよう、文化祭等の成果発表の場を提供します。また文化協会をはじめとする文化・芸術を行う団体の活動を支援します。

○ 図書館サービスの推進

図書館が地域の生涯学習拠点となるよう、蔵書の充実や市民に対する情報提供の向上を図ります。また、市民の学習ニーズや子どもの読書離れ解消に対応し、様々な事業を行います。

方針5…「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。

○ スポーツ活動の振興

幅広い世代が参加できるスポーツ活動の普及に向け、愛西市総合型地域スポーツクラブ等の活性化や、地区市民体育大会の開催、スポーツ推進委員によるスポーツイベント等を促進します。また、ニュースポーツやレガッタ等特色あるスポーツの普及を図ります。

○ 地域スポーツ指導者の養成

各種団体活動や、スポーツ推進委員の活動を通じた指導力の向上を促進します。また、指導者の養成を図るため、研修や教室への参加を促すことで、指導力の向上を図ります。

○ スポーツ団体の育成・自立支援

愛西市スポーツ協会と愛西市総合型地域スポーツクラブの活動を支援するとともに、組織の自立的な運営を促進します。

○ スポーツ施設の活用の充実

スポーツ施設に指定管理者制度を導入することで、市民目線に立った効率的・効果的な管理・運営に努めます。また国際的なスポーツイベントに伴うキャンプ誘致施設としての活用を積極的に進めます。

Ⅲ. 第2次愛西市総合計画施策基本計画体系図

分類	基本目標	施策
1－(1)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	地域コミュニティの組織力強化
1－(2)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	市民協働によるまちづくりを進める環境整備
1－(3)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	環境に優しいまちづくり
1－(4)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	生活環境の改善
2－(1)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	地域ぐるみの防災・減災対策の推進
2－(2)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	防犯活動の推進
2－(3)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	消防・防火対策の推進
2－(4)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	交通安全対策の推進
3－(1)	心身ともに健やかなまちづくり	生涯、いきいきと暮らせる健康づくりの推進
3－(2)	心身ともに健やかなまちづくり	医療体制の充実
3－(3)	心身ともに健やかなまちづくり	社会保険の安定的運営
3－(4)	心身ともに健やかなまちづくり	子育て支援の充実
3－(5)	心身ともに健やかなまちづくり	障害者(児)福祉の推進
3－(6)	心身ともに健やかなまちづくり	介護・高齢者福祉の推進
3－(7)	心身ともに健やかなまちづくり	生活自立の推進
4－(1)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	商工業、新規産業の振興
4－(2)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	農業の振興
4－(3)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	農業生産基盤の整備
4－(4)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	観光の振興
5－(1)	快適で便利なまちづくり	道路網の整備
5－(2)	快適で便利なまちづくり	公共交通網の整備・充実
5－(3)	快適で便利なまちづくり	公園、緑地の整備
5－(4)	快適で便利なまちづくり	計画的なまちづくりの推進
6－(1)	一人ひとりの学びを支えるまちづくり	学校教育の推進
6－(2)	一人ひとりの学びを支えるまちづくり	生涯学習、文化、スポーツ活動の推進
7－(1)	市民に信頼される、安定した行財政運営	行政サービスの向上
7－(2)	市民に信頼される、安定した行財政運営	公共施設等の管理・運営
7－(3)	市民に信頼される、安定した行財政運営	行財政運営の推進
7－(4)	市民に信頼される、安定した行財政運営	地域情報化の推進と広域連携の推進

IV. 施策体系図

学校教育課	
多様な学習指導の充実	クラブ活動事業
	児童生徒芸術鑑賞
	修学旅行児童生徒旅費
	学校給食費負担事業
	交通教育
	防犯ブザー配付事業及び防災等情報メール配信システム運用事業
	防災訓練
	非常勤講師派遣事業
	スクールサポート事業
	総合学習活動事業
	ALT講師配置事業
開かれた学校づくり	食についての正しい知識の啓発
	学校評議員設置事業
	PTA活動運営・PTA連絡協議会
教職員の資質向上	現職教育研修事業
	社会科研究事業
いじめ・不登校対策の充実	適応指導教室事業
特別支援教育の充実	特別支援教育就学奨励事業費
	特別支援教育支援員の配置
就学援助費による保護者負担の軽減	私立高等学校授業料等補助事業
	就学援助事業
教育施設の充実	通学路の安全点検
	学校施設防災関連事業
	学校施設環境整備事業
	愛西市学校給食センター整備・運営事業
	学校空調整備事業
学校規模の適正化	小中学校適正規模等策定
情報教育の推進	小学校ICT事業
	中学校ICT事業

生涯学習課	
	生涯学習の充実
	生涯学習施設の維持管理事業
	指定管理者制度推進事業
	生涯学習推進事業
	青少年育成事業
	家庭教育推進事業
	婦人団体育成事業
	土曜日の教育活動推進事業
	文化財等の保護・活用
	文化財等保護保存事業
	文化財民俗芸能保護保存事業
	文化財啓発事業
	ユネスコ無形文化遺産「市江車行事」啓発事業
	文化・芸術活動の推進
	文化芸術団体育成事業
	図書館サービスの推進
	図書館整備充実事業
	図書館資料提供事業
	子ども読書活動推進計画事業

スポーツ課	
スポーツ活動の振興	高齢者スポーツ開催事業 さわやかウォーキング
	高齢者スポーツ開催事業 エクササイズ
	スポーツ教室開催事業
	ニュースポーツフェスティバル開催事業
	スポーツ推進計画推進事業
	スポーツ教室推進
	スポーツイベント開催
地域スポーツ指導者の養成	
	スポーツ推進委員活動事業
	地域スポーツ推進員育成(スポーツ指導者)
スポーツ団体の育成・自立支援	
	地区市民体育大会助成事業
	スポーツ協会補助事業
	総合型地域スポーツクラブ助成事業
スポーツ施設の活用の充実	
	スポーツ施設等指定管理者事業
	体育施設整備事業

V. 評価シート

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
1	豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。		
基本方針	1. 多様な学習指導の充実		

事務事業番号			1－1－1			
事務事業名			クラブ活動事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校クラブ活動	目的	保護者負担の軽減と授業内容の充実を図るため、クラブ活動に必要な器材等の購入経費等の補助をする。	
事業概要			クラブ活動に必要な器材等の購入経費等の補助をする。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			小学校12校 事業費 744,000円 中学校 6校 事業費2,430,000円	小学校12校 事業費 744,000円 中学校 6校 事業費2,349,000円	小学校12校 事業費 744,000円 中学校 6校 事業費2,268,000円	
財政計画	事業費(千円)		3,174	3,093	3,012	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	3,174	3,093	3,012	
教育委員会の評価			－	C	C	
成果並びに今後の課題			■学校クラブ活動に対し補助を行い、活動内容の充実・活発化と保護者負担の軽減を行った。 ■小学校については、学校規模の大小にかかわらず同一の補助金額のため、見直しも考慮に入れる必要がある。			

事務事業番号			1－1－2			
事務事業名			児童生徒芸術鑑賞		新規/継続	継続
対象			市立小中学校の児童生徒	目的	保護者負担の軽減と授業内容の充実を図るため、芸術鑑賞費用の補助をする。	
事業概要			芸術鑑賞費用の補助をする。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			・小学校12校3,195人 事業費1,377,080円 ・中学校 6校1,645人 事業費 843,700円	・小学校11校2,801人 事業費1,241,420円 ・中学校 6校1,733人 事業費 799,600円	・小学校12校3,001人 事業費1,323,820円 ・中学校 6校1,653人 事業費 785,080円	
財政計画	事業費(千円)		2,221	2,042	2,109	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	2,221	2,042	2,109	
教育委員会の評価			－	B	B	
成果並びに今後の課題			■芸術鑑賞への補助により、児童生徒の豊かな感受性に寄与し、保護者の負担軽減を行った。 ■保護者負担軽減のため、補助は有用である。			

事務事業番号		1－1－3			
事務事業名		修学旅行児童生徒旅費		新規/継続	継続
対象		市立小中学校の児童・生徒のうち修学旅行対象者	目的	保護者負担の軽減と学校活動の充実を図るため、修学旅行費用の補助をする。	
事業概要		修学旅行費用の補助をする。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		・小学校6年生566人 事業費 1,698,000円 ・中学校3年生659人 事業費 2,965,500円	・小学校6年生582人 事業費 1,746,000円 ・中学校3年生606人 事業費 2,727,000円	・小学校6年生519人 事業費 1,557,000円 ・中学校3年生601人 事業費 2,704,500円	
財政計画	事業費(千円)		4,664	4,473	4,262
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	4,664	4,473	4,262
教育委員会の評価		－	B	B	
成果並びに今後の課題		■一定の費用負担を求められる修学旅行においてその補助を行うことにより、保護者の負担軽減を行った。 ■保護者負担軽減のため、補助は有用である。			

事務事業番号		1－1－4			
事務事業名		学校給食費負担事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校の児童生徒	目的	保護者の経済的な負担を軽減するため、学校給食費の一部を負担する。	
事業概要		学校給食費の1食あたり10円を負担する。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		956, 719食に対し、負担した。	917, 994食に対し、負担した。	816, 187食に対し、負担した。	
財政計画	事業費(千円)		9,568	9,180	8,162
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	9,568	9,180	8,162
教育委員会の評価		－	C	C	
成果並びに今後の課題		■学校給食費の一部を補助することにより、保護者の負担軽減を行った。			

事務事業番号			1－1－5		
事務事業名			交通教育		新規/継続 継続
対象			市立小中学校の児童生徒	目的	交通ルール・交通モラルを学び、交通安全意識を高めるため、小中学校における交通安全教室を実施する。
事業概要			小中学校における交通安全教室を実施する。		
事業実施状況			H29	H30	R1
			交通安全教室 17回	交通安全教室 16回	交通安全教室 16回
財政計画	事業費(千円)		0	0	0
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	0
教育委員会の評価			－	C	C
成果並びに今後の課題			■交通安全教室を実施し、交通ルール・モラルを学び、交通安全意識を高めることができた。 ■昨年度に比べて生徒の交通事故件数は11件→8件と減ってはいるが、0件を目標に、今後も児童生徒への十分な指導体制を取るとともに、地域や家庭に向けて交通意識の高揚と事故防止の啓発を行う。		

事務事業番号			1－1－6			
事務事業名			防犯ブザー配付事業及び防災等情報メール配信システム運用事業		新規/継続	継続
対象			市立小学校の1年生児童	目的	児童生徒が防犯ブザーを外出時携帯し、不審者等から回避できるよう、小学校新1年生に防犯ブザーを無償配付する。また、保護者の携帯電話へ不審者情報等をメール配信して、児童生徒の安全確保に努める。	
事業概要			小学校新1年生に防犯ブザーを無償配付する。保護者の携帯電話へ不審者情報等をメール配信する。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			小学1年生490人 事業費256,919円 防災等情報配信メール配信件数15件(内防犯12件) 事業費388,800円	小学1年生436人 事業費244,632円 防災等情報配信メール配信件数32件(内防犯19件) 事業費388,800円	小学1年生472人 事業費266,666円 防災等情報配信メール配信件数25件(内防犯19件) 事業費392,400円	
財政計画	事業費(千円)		646	634	660	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	646	634	660	
教育委員会の評価			－	C	C	
成果並びに今後の課題			■ 防災等情報メール配信システムの運用により不審者情報を一斉に保護者に伝えることができた。			

事務事業番号			1－1－7			
事務事業名			防災訓練		新規/継続	継続
対象		市立小中学校の児童生徒		目的	地震、火災等の自然災害から身を守るため防災について学び、より防災意識を高めるために、避難誘導、初期消火などの訓練を行う。	
事業概要		小中学校において地震・火災・洪水による避難訓練、防災講話などを実施する。				
事業実施状況		H29		H30		R1
		地震19校 火災19校 津波10校 洪水11校 浸水5校 訓練回数96回		地震18校 火災18校 津波12校 洪水7校 浸水5校 訓練回数92回		地震18校 火災18校 津波12校 洪水8校 浸水5校 訓練回数90回
財政計画	事業費(千円)		0	0	0	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	
教育委員会の評価		－	C	C		
成果並びに今後の課題		■様々な災害状況を想定した訓練を実施し、避難方法や避難経路の確認など防災意識を高めることができた。 ■学校によって回数や内容が異なっており、他校や他自治体の訓練情報を提供し、自校の訓練方法について検討してもらうことも必要ではないかと考える。				

事務事業番号		1－1－8			
事務事業名		非常勤講師派遣事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校の児童生徒	目的	児童生徒がきめ細かい指導が受けられ、基礎学力の向上に資するため、小中学校での少人数指導を実施する。	
事業概要		個に応じた学習指導や課題別コース学習等、個性重視の教育を推進する授業を推進する授業改善を目指し、学級(教科)担任とともにティームティーチング授業を行う。また、学校行事等における教育活動の補助及び児童生徒の集団生活への適応指導の補助を行う。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		・個に応じたきめ細やかな少人数指導を実施する。 ・教員の適正配置する。	・個に応じたきめ細やかな少人数指導を実施する。 ・教員の適正配置する。	・個に応じたきめ細やかな少人数指導を実施する。 ・教員の適正配置する。	
財政計画	事業費(千円)		11,832	12,691	14,056
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	11,832	12,691	14,056
教育委員会の評価		－	A	A	
成果並びに今後の課題		■全小中学校に特別非常勤講師を配置し、少人数指導等、きめ細やかな指導を行った。 ■各学校学級状況に合わせ、適正な配置をする必要があるため、現状と実績の把握を継続的に行う必要がある。			

事務事業番号		1－1－9			
事務事業名		スクールサポート事業		新規/継続	継続
対象		学習指導に障害のある児童生徒 (主に外国人への言語補助)	目的	学習指導に障害のある児童生徒が、安全で快適な学校生活を送るために指導面の援助を行い、また、クラスの児童生徒が授業を受けるのに負担をかけないような環境を作るため授業の補助を行う。	
事業概要		学習指導に障害のある児童生徒に対しスクールサポート講師を派遣する。(主に言語補助)			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		援助の必要な児童生徒の在籍する学校へ、スクールサポート講師を派遣する。	援助の必要な児童生徒の在籍する学校へ、スクールサポート講師を派遣する。	援助の必要な児童生徒の在籍する学校へ、スクールサポート講師を派遣する。	
財政計画	事業費(千円)		2,189	3,066	2,685
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	2,189	3,066	2,685
教育委員会の評価		－	A	A	
成果並びに今後の課題		■援助の必要な児童生徒の在籍する学校へスクールサポート講師を派遣した。 ■各学校の状況に合わせ、適正な配置をする必要があるため、現状と実績の把握を継続的に行う必要がある。			

事務事業番号		1－1－10			
事務事業名		総合学習活動事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校の児童生徒	目的	授業内容の充実と総合的な学習時間の充実を図るため必要経費の補助をする。	
事業概要		総合的な学習時間の充実を図るため、必要経費の補助をする。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		小学校12校 事業費2,506,000円 中学校6校 事業費1,285,500円	小学校12校 事業費2,414,250円 中学校6校 事業費1,255,500円	小学校12校 事業費2,375,000円 中学校6校 事業費1,241,250円	
財政計画	事業費(千円)		3,792	3,670	3,617
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	3,792	3,670	3,617
教育委員会の評価		－	B	B	
成果並びに今後の課題		■総合的な学習の時間の充実を図るため必要経費の補助を行った。 ■総合的な学習時間の充実を図るため補助は有用である。			

事務事業番号			1－1－11			
事務事業名			ALT講師配置事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校配置するALT講師事業		目的	外国語や国際理解に興味を持たせ、国際化社会に向けた人材育成に資するため、小中学校において外国人による英語教育を実施する。
事業概要			小中学校において外国人による英語教育を実施する。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			18小中学校にALT講師6人を委託契約により配置	18小中学校にALT講師6人を派遣委託契約により配置	18小中学校にALT講師6人を派遣委託契約により配置	
財政計画	事業費(千円)		26,128	26,082	26,324	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	26,128	26,082	26,324	
教育委員会の評価			－	B	B	
成果並びに今後の課題			■外国語指導助手を小中学校に派遣し、児童、生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図った。 ■小学校の新学習指導要領が2020年より実施され、英語の年間授業時間が増えるため、ALT講師の派遣人数も増やす必要がある。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
1	豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。		
基本方針	2. 開かれた学校づくり		

事務事業番号	1-2-1		
事務事業名	食についての正しい知識の啓発	新規/継続	継続
対象	市立小中学校の児童生徒	目的	食事や食習慣についての正しい知識の普及を図るため各種啓発事業を行う。
事業概要	毎月1回献立表・給食便りを発行する。 給食時に栄養指導を行う。		
事業実施状況	H29 毎月1回の「献立表」「給食だより」を全ての児童生徒に発行。小中学校において給食指導、授業を実施。また「広報あいさい」へ朝食レシピを掲載した。	H30 毎月1回の「献立表」「給食だより」を全ての児童生徒に発行。小中学校において給食指導、授業を実施。また「広報あいさい」へ給食レシピを掲載した。	R1 毎月1回の「献立表」「給食だより」を全ての児童生徒に発行。小中学校において給食指導、授業を実施。また「広報あいさい」へ給食レシピを掲載した。
財政計画	事業費(千円)	0	0
	財源内訳		
	国県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	0	0
教育委員会の評価	—	C	C
成果並びに今後の課題	■一人ひとり生涯を通じた健康づくりの推進を目指し、食事や食習慣についての正しい知識の普及を図るため、他機関とともに各種啓発事業を行った。 ■食に関する教育は、学校給食の現場から学校の食育へと移行していくと考えられるが、当面は本事業を継続していく。		

事務事業番号			1－2－2					
事務事業名			学校評議員設置事業		新規/継続	継続		
対象			市立小中学校評議員		目的	保護者や地域の意見が、学校経営に反映され、特色ある教育活動を展開するため、小中学校に学校評議員を設置し運営する。		
事業概要			小中学校に学校評議員を設置し運営する。					
事業実施状況			H29		H30		R1	
			18校 84人 事業費 731,250円		18校 82人 事業費 695,500円		18校 84人 事業費 565,500円	
財政計画	事業費(千円)		732		696		566	
	財源内訳	国県支出金	0		0		0	
		地方債	0		0		0	
		その他	0		0		0	
		一般財源	732		696		566	
教育委員会の評価			－		C		C	
成果並びに今後の課題			■全小中学校に学校評議員を設置し、保護者や地域の意見を学校経営に取り入れた。 ■人を思いやり、公共性を重んじ、創造性と人間性豊かな個性ある子どもを育て、地域や社会に開かれた学校を作るため、学校評議員の意見を受け、学校経営の整備を行っていく必要がある。					

事務事業番号			1－2－3			
事務事業名			PTA活動運営・PTA連絡協議会		新規/継続	継続
対象			市立小中学校PTA	目的	PTA活動の充実と円滑な運営を図るため、各学校のPTA及び愛西市PTA連絡協議会へ補助をする。	
事業概要			各学校のPTA活動及び愛西市PTA連絡協議会の補助をする。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			・小中学校18校 事業費2,377,700円	・小中学校18校 事業費2,283,850円	・小中学校18校 事業費2,253,100円	
財政計画	事業費(千円)		2,378	2,284	2,254	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	2,378	2,284	2,254	
教育委員会の評価			－	C	C	
成果並びに今後の課題			■PTA活動運営費の軽減を図り、PTA活動の育成と促進を図った。 ■PTA活動運営費の軽減のために補助は有用である。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
1	豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。		
基本方針	3. 教職員の資質向上		

事務事業番号		1－3－1			
事務事業名		現職教育研修事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校教職員	目的	教職員の意識改革、資質向上及び教育効果の向上を図るための、教職員の研修並びに調査研究費を補助する。	
事業概要		教職員の資質向上及び教育効果の向上を図るための、教職員の研修並びに調査研究費を補助する。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		18校 事業費 1,073,000円	18校 事業費 1,050,000円	18校 事業費 1,018,000円	
財政計画	事業費(千円)		1,073	1,050	1,018
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	1,073	1,050	1,018
教育委員会の評価		－	C	C	
成果並びに今後の課題		■教職員の研修・調査研究に対して補助を行い、教職員の資質向上及び教育効果の向上を図った。 ■教職員の資質向上及び教育効果の向上のために補助は有用である。			

事務事業番号			1－3－2			
事務事業名			社会科研究事業		新規/継続	継続
対象			社会科副読本編集委員 (小学校社会科教職員代表)	目的	授業内容の充実を図るため、社会科副読本の調査、準備、作成に係る経費の補助をする。	
事業概要			社会科副読本の調査、準備、作成に係る経費の補助をする。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			事業費 50,000円	事業費 50,000円	事業費 50,000円	
財政計画	事業費(千円)		50	50	50	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	50	50	50	
教育委員会の評価			－	C	C	
成果並びに今後の課題			■社会科副読本作成のための調査費、消耗品費、印刷製本費等の経費を援助した。 ■社会科副読本作成のために補助は有用である。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
2	豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。		
基本方針	1. いじめ・不登校対策の充実		

事務事業番号		2－1－1			
事務事業名		適応指導教室事業		新規/継続	継続
対象		市内小中学校在籍の学校に通えなくなった児童生徒	目的	不登校児を、集団生活になじみ学校へ復帰できる力、及び将来社会で自立できる力を養うため、不登校児童生徒のための適応指導教室を運営する。	
事業概要		不登校児童生徒のための適応指導教室を運営する。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		不登校児の実態把握と対策の検討 不登校児の立場に立った適応指導 相談事業・関係機関との連携	不登校児の実態把握と対策の検討 不登校児の立場に立った適応指導 相談事業・関係機関との連携	不登校児の実態把握と対策の検討 不登校児の立場に立った適応指導 相談事業・関係機関との連携 R1より佐織地区に教室を増設	
財政計画	事業費(千円)		5,991	5,399	10,469
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	5,991	5,399	10,469
教育委員会の評価		－	C	C	
成果並びに今後の課題		■関係機関と連携をとり、不登校児の立場に立った適応指導を行った。 ■学校に適応しにくい不登校児童生徒が、少しでも集団生活になじめるように、場と様々な活動の機会を設定し、学校復帰及び将来的に社会自立ができる力を養えるように指導していく。 ■今後は、人員を増員することで、各学校への巡回や相談事業、関係機関との連携を強化し、不登校児だけでなく、学校生活や家庭環境に対する相談など、包括的な機能を充実させる。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
2	豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。		
基本方針	2. 特別支援教育の充実		

事務事業番号		2－2－1				
事務事業名		特別支援教育就学奨励事業費		新規/継続	継続	
対象		市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者	目的	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に、経済負担の能力に応じて学用品費等の一部を支援することにより、保護者の経済負担を軽減するとともに、特別支援教育の普及奨励を図る。		
事業概要		保護者の経済的負担の軽減並びに特別支援教育の普及奨励を行う。				
事業実施状況		H29	H30	R1		
		小学校 49人 1,556,175	小学校 62人 2,114,338	小学校 57人 1,842,637		
		中学校 22人 1,069,537	中学校 18人 822,600	中学校 24人 1,312,844		
		国庫支出金 小学校 757,000	国庫支出金 小学校 964,000	国庫支出金 小学校 901,000		
		国庫支出金 中学校 529,000	国庫支出金 中学校 413,000	国庫支出金 中学校 656,000		
財政計画	事業費(千円)	2,627	2,938	3,156		
	財源内訳	国庫支出金	1,286	1,377	1,557	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	1,341	1,561	1,599	
教育委員会の評価		－	C	C		
成果並びに今後の課題		■対象者に制度を周知するため、対象者に書類送付を行った。 ■案内内容を精査し、今より分かり易い文書とする。				

事務事業番号		2－2－2			
事務事業名		特別支援教育支援員の配置		新規/継続	継続
対象		市内小中学校に在籍している障害児童生徒	目的	発達障害など特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍する市内の小中学校において、合理的配慮を必要とする対象児童生徒に対し、日常生活動作の介助、学習活動上の支援等を行う。	
事業概要		支援員が、学級担任及び保護者と連携して、学習活動、教室間移動等における介助、基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助、対象児童生徒の健康・安全確保及び周囲の児童生徒の障害理解を促進する。平成30年度より市雇用となった。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		夢んぼに事業委託し、15校12人の特別支援教育支援員を配置した。	市雇用となり、15校26名の特別支援教育支援員を配置した。(賃金は人事課で計上。出張旅費のみ学校教育課予算)	17校31名の特別支援教育支援員を配置した。(賃金は人事課で計上。出張旅費のみ学校教育課予算)	
財政計画	事業費(千円)		34,500	17,493	21,734
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	34,500	17,493	21,734
教育委員会の評価		－	B	B	
成果並びに今後の課題		■支援員を配置することにより、複数名在籍している特別支援学級の児童生徒が交流学級で授業を受ける際の付添が可能となり、児童生徒の学習の幅が広がった。特別な教育的支援を必要としている児童生徒一人ひとりに対して、よりきめ細やかな対応をすることができるようになった。 ■支援員が児童生徒の障害やその特性、支援、援助、介助の方法等の知識を深め、スキルアップを図る必要がある。 ■学校が支援員を効果的に活用するため、その職務に対する理解を深め、適切な指示を行い、担任や保護者と支援員が連携できるよう特別支援教育コーディネーターの力量向上が課題である。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
2	豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。		
基本方針	3. 就学援助費による保護者負担の軽減		

事務事業番号		2－3－1			
事務事業名		私立高等学校授業料等補助事業		新規/継続	継続
対象		私立高校生の保護者であり、市内に在住する保護者	目的	保護者負担の軽減と、国公立学校と私立学校の格差是正を図るため、私立高等学校の授業料等の一部を市が単独補助をする。	
事業概要		私立高等学校の授業料等の一部を市が単独補助をする。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		補助対象私立高校生 450人 補助額(年額) 10,000円/人 事業費 4,500,000円	補助対象私立高校生 476人 補助額(年額) 10,000円/人 事業費 4,760,000円	補助対象私立高校生 421人 補助額(年額)10,000円/人 事業費 4,210,000円	
財政計画	事業費(千円)		4,500	4,760	4,210
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	4,500	4,760	4,210
教育委員会の評価		－	C	C	
成果並びに今後の課題		■対象者に制度を周知するため、HP、広報掲載、申請実績のある私立学校に書類送付を行い、国公立学校と私立学校の格差是正を図った。			

事務事業番号		2－3－2			
事務事業名		就学援助事業		新規/継続	継続
対象		市内小中学校に在籍する児童生徒の保護者	目的	経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等の必要な援助を行い、児童生徒の就学を支援する。	
事業概要		経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、児童生徒の就学を支援する。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		小学校 278人 16,999,742円 中学校 220人 20,278,275円	小学校 313人 16,763,059円 中学校 238人 17,760,266円	小学校 310人 15,902,538 中学校 224人 16,844,269	
財政計画	事業費(千円)		37,279	34,525	32,748
	財源内訳	国県支出金	22	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	37,257	34,525	32,748
教育委員会の評価		－	C	C	
成果並びに今後の課題		■対象者に制度を周知するため、HP・広報の掲載、各小中学校の全生徒に対して案内の配布を行った。 ■案内内容を精査し、今より分かり易い文書とする。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
3	豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。		
基本方針	1. 教育施設の充実		

事務事業番号		3-1-1		
事務事業名		通学路の安全点検	新規/継続	継続
対象		通学路	目的	通学路の危険箇所を知り、注意するとともに改善対応を図るため、PTA・教職員等による通学路の危険箇所を点検する。
事業概要		PTA・教職員等による通学路の危険箇所を点検する。		
事業実施状況		H29 通学路点検 19校98回	H30 通学路点検 18校95回	R1 通学路点検 18校87回
財政計画	事業費(千円)	0	0	0
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
教育委員会の評価		—	C	C
成果並びに今後の課題		■さらに安全対策を実施していく必要がある。		

事務事業番号			3－1－2			
事務事業名			学校施設防災関連事業		新規/継続	継続
対象			小中学校施設	目的	屋内運動場・武道場の非構造部材耐震改修工事の実施設計を行い、大規模空間にある吊り天井等の落下防止対策工事を実施する。	
事業概要			屋内運動場・武道場の非構造部材耐震改修工事の、実施設計、対策工事を実施する。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			設計(永和小、佐屋中) 工事・監理(永和中、佐織西中)	設計(市江小、佐屋小) 工事・監理(永和小、佐屋中)	設計(佐屋西小、立田北部小、立田南部小、八輪小、開治小、佐織西中) 工事・監理(市江小、佐屋小)	
財政計画	事業費(千円)		71,226	93,756	108,108	
	財源内訳	国県支出金	22,607	24,467	33,424	
		地方債	43,000	62,700	60,300	
		その他	0	0	0	
		一般財源	5,619	6,589	14,384	
教育委員会の評価			－	B	A	
成果並びに今後の課題			■R1年度までに対象施設23施設のうち17施設の対策工事が完了。 ■R2年度中にR1年度で設計した残り6校の工事を実施し、完了予定。			

事務事業番号			3－1－3			
事務事業名			学校施設環境整備事業		新規/継続	継続
対象			小中学校施設(トイレ)	目的	施設環境の整備を図り、快適に学習・生活ができるよう環境に配慮した施設の工事及び施設の整備を行う。	
事業概要			■快適に学習・生活ができるよう環境に配慮した施設工事及び施設の整備を行う。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			設計(永和小、勝幡小、西川端小) 工事・監理(佐屋小)	設計(佐屋小) 工事・監理(永和小、勝幡小、西川端小)	設計(北河田小・草平小・永和中) 工事・監理(佐屋小)	
財政計画	事業費(千円)		50,987	115,911	46,595	
	財源内訳	国県支出金	12,241	24,982	10,332	
		地方債	33,000	84,800	28,800	
		その他	0	0	0	
		一般財源	5,746	6,129	7,463	
教育委員会の評価			－	B	A	
成果並びに今後の課題			■現在は、小学校を中心にトイレ改修事業を進めているが、R2年度より中学校においても改修工事を実施予定。			

事務事業番号		3-1-4		
事務事業名		愛西市学校給食センター整備・運営事業		新規/継続 継続
対象		市立小中学校児童・生徒(佐屋・立田地区)	目的	旧佐屋・立田地区の学校に給食を提供するための給食センターを民間活力を利用して整備・運営する。
事業概要		給食センターを運営するにあたり、PFI法の趣旨に則り、民間活力を利用し財政的な負担軽減とサービスの向上を目指す。		
事業実施状況		H29 徹底した衛生管理に基づき、大きなトラブルもなく、安定した給食の提供を実施した。	H30 徹底した衛生管理に基づき、大きなトラブルもなく、安定した給食の提供を実施した。	R1 徹底した衛生管理に基づき、大きなトラブルもなく、安定した給食の提供を実施した。
財政計画	事業費(千円)	198,334	202,367	205,481
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
教育委員会の評価		—	C	C
成果並びに今後の課題		■学校給食の提供において、衛生基準の高い学校給食センターの運営を実施し、大きなトラブルもなく安定して給食を供給できた。 ■アレルギー対応食を始め「安心、安全」な給食を供給できるよう、委託業者や関係業者との連携を図っていく。		

事務事業番号		3-1-5		
事務事業名		学校空調整備事業		新規/継続 新規
対象		小中学校施設(空調)	目的	施設環境の整備を図り、快適に学習・生活ができるよう環境に配慮した施設の工事及び施設の整備を行う。
事業概要		快適に学習・生活ができるよう環境に配慮した施設工事及び施設の整備を行う。		
事業実施状況		H29	H30	R1
			設計(小中18校) 工事(小中18校前払)	工事・監理(小中18校)
財政計画	事業費(千円)		186,488	518,346
	財源内訳			
	国県支出金		0	100,156
	地方債		160,300	404,100
	その他		0	0
教育委員会の評価		—	E	A
成果並びに今後の課題		■R1年度で18校すべての学校の普通教室に空調の整備完了。 ■R2年度以降は、教室の変更等に応じて整備していく予定。		

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
3	豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。		
基本方針	2. 学校規模の適正化		

事務事業番号	3-2-1		
事務事業名	小中学校適正規模等策定	新規/継続	継続
対象	小中学校	目的	小中学校適正規模等基本方針に基づき、小中学校の規模等適正化に向けての基本計画を策定する
事業概要	小中学校の適正規模の確保を念頭におき、将来にわたり望ましい教育環境を維持・発展させる方策を検討する。		
事業実施状況	H29	H30	R1
	適正規模等基本計画策定準備委員会を2回開催。作業部会での資料、地域説明会へ向けて行う準備などを検討した。	立田・八開地区において、保護者説明会および住民向けに地区説明会を行った。	立田・八開地区において、保護者説明会及び住民向けに地区説明会を行った。
財政計画	事業費(千円)	0	0
	国県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	0	0
教育委員会の評価	—	D	D
成果並びに今後の課題	■立田地区、八開地区において地区説明会を行い、参加者からアンケートをいただいたが、賛成、反対、統合は賛成だが方法には反対などあらゆる意見をいただいております、事業を進めることが困難な状況にある。 ■今後は地域の意見や状況を注視し、動きに対して即時対応する等で、理解を得ていく。		

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
3	豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。		
基本方針	3. 情報教育の推進		

事務事業番号		3－3－1			
事務事業名		小学校ICT事業		新規/継続	継続
対象		小学校	目的	日常的にICTを活用することが当たり前の現代社会において、学校の生活や学習においても日常的にICTを活用できる環境を整備していく。	
事業概要		老朽化した機器の更新、無線LAN、大型提示装置等の機器設置、ICT支援員の派遣			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。	コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。	コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。老朽化した機器を更新した。	
財政計画	事業費(千円)		51,362	51,741	86,594
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	51,362	51,741	86,594
教育委員会の評価		－	B	B	
成果並びに今後の課題		■サーバー、パソコン、プリンター、大型提示装置、無線LANアクセスポイント等の賃貸借の更新およびICT機器類のシステムの保守を行い円滑な運用に努めた。 ■一人一台端末の整備費及び保守に多額の費用が発生する。			

事務事業番号		3-3-2			
事務事業名		中学校ICT事業		新規/継続	継続
対象		中学校	目的	日常的にICTを活用することが当たり前の現代社会において、学校の生活や学習においても日常的にICTを活用できる環境を整備していく。	
事業概要		老朽化した機器の更新、無線LAN、大型提示装置等の機器設置、ICT支援員の派遣			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。	コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。老朽化した機器を更新した。	コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。	
財政計画	事業費(千円)		26,781	40,669	31,189
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	26,781	40,669	31,189
教育委員会の評価		—	B	B	
成果並びに今後の課題		■サーバー、パソコン、プリンター、大型提示装置、無線LANアクセスポイント等の賃貸借およびICT機器類のシステムの保守を行い円滑な運用に努めた。 ■一人一台端末の整備費及び保守に多額の費用が発生する。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	1. 生涯学習の充実		

事務事業番号		4-1-1		
事務事業名		生涯学習施設の維持管理事業		新規/継続 継続
対象		生涯学習施設	目的	生涯学習施設の改修工事を施工する。
事業概要		設備の経年劣化に対応するため、保全基本計画に基づく改修等を行い生涯学習施設の適正かつ円滑な運営を図る。		
事業実施状況		H29	H30	R1
		文化会館エレベーター改修工事 16,632,000円 佐織公民館ホール舞台照明改修工事 21,600,000円 佐織公民館直流電源装置蓄電池取替工事 1,847,880円 佐織公民館ホール系統冷温水ポンプ、客席・舞台系統エアハンドリングユニット緊急修繕工事 1,620,000円 永和地区公民館底補強工事 1,911,600円 中央図書館空調修繕工事 1,674,000円 八開文化財資料倉庫解体工事 17,863,200円 八開文化財資料倉庫アスベスト撤去工事 11,880,000円 ほか	佐織公民館空調設備修繕 2,874,960円 文化会館自動火災報知設備改修工事 8,091,360円 文化会館キャノピー塗装工事 1,242,000円 文化会館ホールトイレ改修工事 1,075,646円 ほか	佐織公民館防火戸改修工事 9,130,000円 佐織公民館空調機洗浄・修繕工事 1,036,800円 佐織公民館公共下水接続工事 3,240,000円 ほか
財政計画	事業費(千円)	90,041	19,535	15,247
	財源内訳			
	国県支出金	3,960	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
一般財源		86,081	19,535	15,247
教育委員会の評価		—	C	C
成果並びに今後の課題		■生涯学習施設は今後も施設、設備等の老朽化が進むものと考えられることから、施設保全基本計画に沿って改修を行う必要がある。 ■文化、芸術の拠点施設として有効に活用されるよう、資質の向上を図っていく。		

事務事業番号			4－1－2			
事務事業名			指定管理者制度推進事業		新規/継続	継続
対象			中央図書館 永和地区公民館 文化会館	目的	生涯学習施設に指定管理者制度を導入し、民間のノウハウによるサービスの向上をめざす	
事業概要			中央図書館・永和地区公民館・文化会館に指定管理者制度を導入する。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			中央図書館指定管理料 37,796,000円 永和地区公民館指定管理者選定	中央図書館指定管理料 37,797,000円 永和地区公民館指定管理料 5,586,000円 モニタリング 文化会館指定管理者指定	中央図書館指定管理料 38,146,962円 永和地区公民館指定管理料 5,612,000円 文化会館指定管理者指定管理料 36,212,222円 モニタリング	
財政計画	事業費(千円)		37,857	43,527	80,084	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	192	
		一般財源	37,857	43,527	79,892	
教育委員会の評価			－	C	C	
成果並びに今後の課題			■中央図書館は新しい試みがあり、好評である。第2期も選定が終了し、同じ指定管理者が選定された。 ■永和地区公民館は公民館講座も積極的に行なわれるようになった。 ■文化会館の指定管理が始まったが、民間のノウハウを利用し積極的に事業を行うなど、使用者にも好評である。			

事務事業番号		4－1－3			
事務事業名		生涯学習推進事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	地域住民のため、地域生活に根ざした事業を行い、生活文化の振興、健康の増進等を図る。	
事業概要		市民に学習機会を提供していくため講座を実施する。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		「生涯学習のご案内」作成 生涯学習講座12・文化会館講座 28・公民館講座21	「生涯学習のご案内」作成 生涯学習講座10・文化会館講座 30・公民館講座25	「生涯学習のご案内」作成 生涯学習講座6・文化会館講座 8・佐織公民館講座20 (指定管理者自主事業 文化会館 講座12・永和地区公民館5	
財政計画	事業費(千円)		1,662	1,627	1,114
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	509	535	313
		一般財源	1,153	1,092	801
教育委員会の評価		－	C	C	
成果並びに今後の課題		■忙しくて時間がない、きっかけがないという方々に関心を持っていただくことが課題である。 ■誰でも気軽に参加できる講座イベントを開催した。 ■指定管理者の自主事業講座等が充実しつつある。			

事務事業番号			4－1－4		
事務事業名			青少年育成事業		新規/継続 継続
対象		青少年	目的	青少年の積極的自発活動により、自らの健康を築き社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、地域活動の推進、地域リーダーの育成を図る。	
事業概要		青少年健全育成のため、事業活動に対し補助をする。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		市成人式 青少年パトロール 有害図書回収 ボーイスカウト・ガールスカウト助成	市成人式 青少年パトロール 有害図書回収 ボーイスカウト・ガールスカウト助成	市成人式 青少年パトロール 有害図書回収 ボーイスカウト・ガールスカウト助成	
財政計画	事業費(千円)		1,328	1,227	1,158
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	1,328	1,227	1,158
教育委員会の評価		－	C	C	
成果並びに今後の課題		■ 青少年を取り巻く環境は有害な情報が氾濫し、多様なものになっている。 ■ 心身ともに健康で、社会において自己実現が図れるよう、活動の場を推進していく必要がある。			

事務事業番号			4－1－5			
事務事業名			家庭教育推進事業		新規/継続	継続
対象			保護者	目的	家庭教育の推進を図るとともに、地域ぐるみで明日を担う子どもの健全な育成をはかる。	
事業概要			家庭教育に関する「広報・啓発活動」や「学習機会の提供」、「親子がふれあう機会の提供」「小中学校でのあいさつ運動実践」などの事業を実施する。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			小学校家庭教育 幼児期家庭教育 講演会(佐久間レイ氏)	小学校家庭教育 幼児期家庭教育 講演会(ジェフ・バーグランド氏)	小学校家庭教育 幼児期家庭教育 講演会(廣瀬誠氏)	
財政計画	事業費(千円)		1,659	1,456	785	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	1,659	1,456	785	
教育委員会の評価			－	C	C	
成果並びに今後の課題			■ 小学校PTAや児童館などの協力を得、保護者が家庭教育について考える機会を設けることができた。 ■ 小学校PTAのご協力を得て様々な分野で活躍している講師を招き、講演会を行うことができた。今後はもう少し多分野にひろげて、関心のない保護者の目にも届くようにする。			

事務事業番号			4-1-6			
事務事業名			婦人団体育成事業		新規/継続	継続
対象		婦人会	目的	女性としての知徳、地位の向上に努めるため、婦人団体の活動を支援し育成する。		
事業概要		婦人会育成のため、事業活動に対し補助をする。				
事業実施状況		H29		H30		R1
		各種行事への協力、婦人会映画会、婦人あいさいの発行		各種行事への協力、婦人会映画会、婦人あいさいの発行		各種行事への協力、婦人会映画会、婦人あいさいの発行
財政計画	事業費(千円)		1,210	1,120	1,000	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	1,210	1,120	1,000	
教育委員会の評価		—	C	C		
成果並びに今後の課題		■令和元年度より八開地区が脱退し、活動は佐屋地区・佐織地区のみとなり事務移譲が行われた。 ■婦人会員の高齢化が進み、各支部ともに新規会員の加入を課題としている。そのため、「婦人会映画会」など、会員以外の方にも参加してもらえる事業を企画し、婦人会活動のPRを進め、魅力ある活動にするための課題を協議しながら婦人会の活性化を進めていく。				

事務事業番号			4－1－7			
事務事業名			土曜日の教育活動推進事業		新規/継続	継続
対象			市内小中学生	目的	豊かで有意義な土曜日を実現させるために地域市民の方々の協力を得て子供たちと交流を持ちながら文化の伝承・学習機会をつくることを目的とする。	
事業概要			市民の学習ニーズを活かした多様な学習を企画・展開する。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			あいさい土曜キラリ学習23教室	あいさい土曜キラリ学習19教室	あいさい土曜キラリ学習20教室	
財政計画	事業費(千円)		1,290	1,202	1,289	
	財源内訳	国県支出金	848	766	749	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	54	55	
		一般財源	442	382	485	
教育委員会の評価			－	C	C	
成果並びに今後の課題			■地域の方々と協力し、様々な学習機会を作ることができた。 ■あいさい土曜キラリ学習の中で、学習指導を行うチャレンジ教室を開催した。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	2. 文化財等の保護・活用		

事務事業番号			4－2－1			
事務事業名			文化財等保護保存事業		新規/継続	継続
対象			文化財資料	目的	市内外に所在する市関係資料の収集につとめるとともに、調査研究をすすめ、市民にその成果を還元し、文化財保護意識の高揚を図る。	
事業概要			市内外の愛西市関係資料調査と資料整理を行う。また保存のための措置として資料のくん蒸を実施し、資料保存に努めていく。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			八開郷土資料室(仮)整理作業 文化財施設清掃・維持 燻蒸等	八開郷土資料室(仮)整理作業 文化財施設清掃・維持 燻蒸等	八開郷土資料室(仮)整理作業 文化財施設清掃・維持 燻蒸等	
財政計画	事業費(千円)		1,436	1,436	1,900	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	1,436	1,436	1,900	
教育委員会の評価			－	D	D	
成果並びに今後の課題			■文化財の環境保全・資料管理を行う。 ■今後八開郷土資料室(仮)は移転予定あり。移転先を選定していく。 ■立田文化財資料倉庫は取り壊し予定。			

事務事業番号		4-2-2		
事務事業名		文化財民俗芸能保護保存事業	新規/継続	継続
対象		市内の指定文化財	目的	国選択・市指定の無形民俗文化財の保存団体に対し、行事の実施や後継者育成のための支援を行う。
事業概要		文化財の保存管理と継承を図るため補助をする。		
事業実施状況		H29 円空仏 東保クロマツ 勝幡オコワ祭 定納オビシヤ	H30 円空仏 東保クロマツ 勝幡オコワ祭 定納オビシヤ	R1 円空仏 東保クロマツ 勝幡オコワ祭 定納オビシヤ
財政計画	事業費(千円)	184	182	232
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
一般財源		184	182	232
教育委員会の評価		—	C	C
成果並びに今後の課題		■地域の文化財は市と地域とが協力し合い、伝承していくことが重要である。		

事務事業番号		4-2-3		
事務事業名		文化財啓発事業	新規/継続	継続
対象		市民	目的	郷土について学び文化財保護の意識の高揚を図る。
事業概要		市民に学習機会の提供を図るため、歴史講演会、教室・講座、企画展を開催する。		
事業実施状況		H29 あいさい物語 歴史講演会「願達留から見る近世社会」 展示「古文書から見る江戸時代の村」	H30 あいさい物語 歴史講演会「八竜遺跡」 展示「八竜遺跡」	R1 あいさい物語 歴史講演会「オコワ祭シンポジウム～祭りの継承」 展示「春の訪れ～尾張西部のオコワ祭～」 特別公開「鈴木家住宅特別公開」
財政計画	事業費(千円)	120	120	90
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	64
一般財源		120	120	26
教育委員会の評価		—	C	C
成果並びに今後の課題		■自分たちの住んでいる地域の歴史を少し身近に感じていただくことができた。今後も様々な歴史を市民に知っていただけるよう、いろいろな企画を立てる。		

事務事業番号		4－2－4			
事務事業名		ユネスコ無形文化遺産「市江車行事」啓発事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	ユネスコ無形文化遺産、尾張津島天王祭・朝祭の主役である「市江車行事」について、市民に広く啓発する。	
事業概要		様々な形態の啓発活動を開催し、市江車について理解を深めていただく。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		はっぴ作成 鉄舟改修 市江車保存会補助金	狂言「千鳥」上演 市江車保存会補助金	津島祭礼図屏風クリアファイル作製 市江車ガイドパンフレット作製 祭礼図屏風保管箱 市江車保存会補助金	
財政計画	事業費(千円)		3,642	3,000	3,209
	財源内訳	国県支出金	0	164	0
		地方債	0	0	0
		その他	40	0	0
		一般財源	3,602	2,836	3,209
教育委員会の評価		－	C	C	
成果並びに今後の課題		■大英博物館所蔵「津島祭礼図屏風」のクリアファイルと市江車ガイドブックを作製し、市江車行事の普及に努めた。 ■市江車保存会を補助し、まだよく知られていない「市江車」を広く知っていただくため啓発する必要がある。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	3. 文化・芸術活動の推進		

事務事業番号			4－3－1			
事務事業名			文化芸術団体育成事業		新規/継続	継続
対象			市民	目的	市の生涯学習施設を利用し、心の豊かさの糧となる文化・芸術に市民が触れる機会を提供する。	
事業概要			文化祭・観劇会・音楽祭などを開催する。また、文化芸術活動団体を支援する。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			文化協会補助金 文化祭	文化協会補助金 文化祭 あいさい音楽祭	文化協会補助金 文化祭 あいさい音楽祭	
財政計画	事業費(千円)		5,786	6,156	5,701	
	財源内訳	国県支出金	0	317	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	392	646	
		一般財源	5,786	5,447	5,055	
教育委員会の評価			－	B	B	
成果並びに今後の課題			■市民オーディションによる音楽合戦と、一般公募による第九合唱団員を募集し、市民オーケストラとともに、第九の合唱をすることができた。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	4. 図書館サービスの推進		

事務事業番号		4－4－1			
事務事業名		図書館整備充実事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	図書館システムにより図書の貸出返却、資料管理やインターネット予約、レファレンス等を一括して行う。	
事業概要		貸出状況管理・利用者管理・図書資料データ管理・ホームページ・インターネット予約管理・統計作成など行う。 インターネットを利用して資料データを市民が自宅で検索・予約できる。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		インターネット検索 695,760件	インターネット検索 658,101件	インターネット検索 484,242件	
財政計画	事業費(千円)		5,069	5,069	5,103
	財 源 内 訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	5,069	5,069	5,103
教育委員会の評価		－	B	C	
成果並びに今後の課題		■今年度の検索件数の減少は、フィーチャーホンでの検索数の減少によるものであり、スマートフォンでの検索は微増。図書館内での検索件数は増加している。3月休業も原因の1つと考えられる。			

事務事業番号			4－4－2			
事務事業名			図書館資料提供事業		新規/継続	継続
対象			市民	目的	図書資料の充実・レファレンス資料の充実を図る。	
事業概要			利用者が求める資料を提供するため、資料の収集・レファレンス・閲覧・貸出等を行う。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			図書資料購入点数 4,847冊 視聴覚資料購入点数 149点	図書資料購入点数 5,008冊 視聴覚資料購入点数 133点	図書資料購入点数 4,643冊 視聴覚資料購入点数 105点	
財政計画	事業費(千円)		7,981	7,976	7,516	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	7,981	7,976	7,516	
教育委員会の評価			－	C	C	
成果並びに今後の課題			■利用者の求める新しい資料を提供し、古くなった資料は廃棄し、書架の鮮度を保っている。閉架スペースの限度を超えて収納している状態である。			
事務事業番号			4－4－3			
事務事業名			子ども読書活動推進計画事業		新規/継続	継続
対象			児童・生徒	目的	平成28年3月策定の第二次子ども読書推進計画に基づき、事業を行う。	
事業概要			読み聞かせ会・季節展示・工作会等を随時開催し、学校との連携を図る。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			おはなし会・図書紹介・学校との連携・調べ学習の手助けなど	おはなし会・図書紹介・学校との連携・調べ学習の手助けなど	おはなし会・図書紹介・学校との連携・調べ学習の手助けなど	
財政計画	事業費(千円)		5	5	5	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	5	5	5	
教育委員会の評価			－	D	D	
成果並びに今後の課題			■第二次子ども読書推進計画では中高生の読書の推進が目標となっているが、利用を伸ばすのは困難である。 ■高校生ボランティアによる絵本の読み聞かせを始めるなど、積極的に事業を進めている。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	1. スポーツ活動の振興		

事務事業番号		5-1-1		
事務事業名		高齢者スポーツ開催事業 さわやかウォーキング		新規/継続 継続
対象		小学生以上	目的	健康維持と体力づくり及び運動習慣をサポートするため、有酸素運動として有効で比較的軽い運動としてウォーキングを体力づくりとして推進する。
事業概要		「歩く」ことにより、運動不足の解消、健康づくりを図った。		
事業実施状況		H29	H30	R1
		平成30年 3月11 日(日) 「三重県民の森」(三重県菰野町) 参加者46 名(60歳以上41 名)	平成31年 3月10 日(日) 「犬山城下町」(愛知県犬山市) 参加者46 名(60歳以上45 名)	令和2年 3月8 日(日) 「日本ラインうめまの森」 (岐阜県各務原市)
財政計画	事業費(千円)	1	8	2
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1	8	2
教育委員会の評価		—	C	—
成果並びに今後の課題		新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止とした。 安全が確保され、参加者が安心して歩くことができる場所を選定。		

事務事業番号		5-1-2		
事務事業名		高齢者スポーツ開催事業 エクササイズ	新規/継続	継続
対象		高校生以上	目的	高齢者を含めた健康維持と体力づくり・運動習慣をサポートするため、総合型地域スポーツクラブのスポーツ事業(常時活動)として機能改善、向上を図る。
事業概要		イスを使用したストレッチの講座を年間を通して開催する。		
事業実施状況		H29	H30	R1
		第2・4金曜日(年24回) 参加者28名(内60歳以上22名)	第2・4金曜日(年24回) 参加者25名(60歳以上25名)	第2・4金曜日(年間22回) 参加者24名(60歳以上22名)
財政計画	事業費(千円)	0	0	0
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
教育委員会の評価		—	C	C
成果並びに今後の課題		スポーツの定期的・継続的な活動を行い、市民の健康、体力づくりのサポートをした。会員数を増加できる種目を検討する。		

事務事業番号		5-1-3		
事務事業名		スポーツ教室開催事業	新規/継続	継続
対象		親子(未就学児)他	目的	スポーツ教室を通してスポーツに取り組む機会と継続的なスポーツ活動と地域の仲間作りを推進するとともに健康増進を図る。
事業概要		ニュースポーツ教室、一般向け教室(高齢者含む)を開催し、生涯スポーツとの出会いの場を提供する。		
事業実施状況		H29	H30	R1
		総合型地域スポーツクラブ事業 ショートテニス始め14種目390名 (内60歳以上 209名)	総合型地域スポーツクラブ事業 ショートテニス始め14種目358名 (内60歳以上 142名)	総合型地域スポーツクラブ事業 ショートテニス始め14種目362名 (内60歳以上 116名)
財政計画	事業費(千円)	0	0	0
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
教育委員会の評価		—	C	C
成果並びに今後の課題		幅広い世代の方々が多種目のスポーツ・レクリエーションの定期的・継続的な活動を行い、市民の健康、体力づくりのサポートをした。高齢者の利用者がさらに減少傾向であるため、高齢者向きの新たな講座の開設を検討する。		

事務事業番号		5-1-4			
事務事業名		ニュースポーツフェスティバル開催事業		新規/継続	継続
対象		年長以上	目的	子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツを紹介、体験することで、ニュースポーツの普及とともに、運動による健康増進を図る。	
事業概要		「遊びが運動になる、運動が遊びになる」をテーマにニュースポーツの紹介と気軽にできる運動の体験の場を提供する。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		8月5日(土) 競技種目4種 参加者270名(60歳以上 56名)	8月4日(土) 競技種目4種 参加者253名(60歳以上 61名)	8月3日(土) 競技種目4種 参加者328名(60歳以上 74名)	
財政計画	事業費(千円)		0	0	0
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	0
教育委員会の評価		—	C	C	
成果並びに今後の課題		ジュニアから高齢者まで、手軽に参加できるニュースポーツの啓発と市民の交流を図った。子どもから高齢者が親しめる生涯スポーツの実現に向け事業を推進する			

事務事業番号			5-1-5		
事務事業名			スポーツ推進計画推進事業		新規/継続 継続
対象			市民	目的	愛西市スポーツ推進計画の推進を図る。
事業概要			平成24年度から平成33年度までの10年間の愛西市スポーツ推進計画の推進を図る。		
事業実施状況			H29	H30	R1
			平成24年度に策定したスポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。	平成24年度に策定したスポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。	平成24年度に策定したスポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。
財政計画	事業費(千円)		0	0	0
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	0
教育委員会の評価			—	C	C
成果並びに今後の課題			スポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。 新たな計画に向けた準備を進める。		

事務事業番号		5-1-6		
事務事業名		スポーツ教室推進		新規/継続 継続
対象		親子(未就学児)他	目的	スポーツ教室を通じてスポーツに取り組む機会と継続的なスポーツ活動とスポーツ競技力の向上を図る。
事業概要		各スポーツ教室を地区体育館、学校体育施設を開催場所にして、地域市民が気軽に参加できる教室を開催する。また、親子が楽しんで参加できる教室を開催する。		
事業実施状況		H29	H30	R1
		総合型地域スポーツクラブ事業 常時活動 19講座 指定管理業者自主事業 親水公園体育館 26講座 立田体育館 1講座 佐織体育館 8講座	総合型地域スポーツクラブ事業 常時活動 19講座 指定管理業者自主事業 親水公園体育館 24講座 立田体育館 2講座 佐織体育館 9講座	総合型地域スポーツクラブ事業 常時活動 19講座 指定管理業者自主事業 親水公園体育館 27講座 立田体育館 2講座 佐織体育館 10講座
財政計画	事業費(千円)	0	0	0
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
		一般財源	0	0
教育委員会の評価		—	B	B
成果並びに今後の課題		スポーツ教室・講座を開催し、市民にスポーツを親しむ機会を与えた。 継続的なスポーツ活動ができる種目を検討する。		

事務事業番号		5-1-7		
事務事業名		スポーツイベント開催		新規/継続 継続
対象		年長又は小学生以上	目的	スポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ機会と軽スポーツ・レクリエーションを楽しみ、健康維持、増進を図る。
事業概要		ニュースポーツの体験等を行い、ゲーム・スタンプラリー形式により楽しみやすいイベントを開催する。また、誰でも気軽に参加できるジョギングを開催し、参加者数を増やし、市民のスポーツ振興を図る。		
事業実施状況		H29	H30	R1
		教育委員会事業 ニュースポーツフェスティバル いきいきジョギング 総合型地域スポーツクラブ事業 会員子どもイベント スナッグゴルフ交流大会 (※雨天中止) 小中学生卓球交流大会 会員交流イベント	教育委員会事業 ニュースポーツフェスティバル いきいきジョギング 総合型地域スポーツクラブ事業 会員子どもイベント スナッグゴルフ交流大会 小中学生卓球交流大会 会員交流イベント	教育委員会事業 ニュースポーツフェスティバル いきいきジョギング 総合型地域スポーツクラブ事業 三世代交流イベント スナッグゴルフ交流大会 小中学生卓球交流大会 会員交流イベント
財政計画	事業費(千円)	143	69	59
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
		一般財源	143	59
教育委員会の評価		—	B	B
成果並びに今後の課題		スポーツに親しむ機会を創出し、健康維持、増進に役立てた。 各イベント、事業の参加者数が増えるような内容を検討する。		

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	2. 地域スポーツ指導者の養成		

事務事業番号		5-2-1		
事務事業名		スポーツ推進委員活動事業		新規/継続 継続
対象		スポーツ指導者	目的	市民のスポーツの振興を図る。
事業概要		スポーツに関する行事又は事業への協力並びにスポーツイベントの企画運営を行う。		
事業実施状況		H29	H30	R1
		スポーツイベントの企画、運営 3イベント 総合型地域スポーツクラブへの参加 4講座 各地域市民体育大会への協力参加 市子ども会スポーツ大会「ドッジボール」への協力、指導	スポーツイベントの企画、運営 3イベント 総合型地域スポーツクラブへの参加 4講座 各地域市民体育大会への協力参加 市子ども会スポーツ大会「ドッジボール」への協力、指導	スポーツイベントの企画、運営 3イベント 総合型地域スポーツクラブへの参加 4講座 各地域市民体育大会への協力参加 市子ども会スポーツ大会「ドッジボール」への協力、指導
財政計画	事業費(千円)	2,028	1,950	1,950
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,028	1,950	1,950
教育委員会の評価		—	C	C
成果並びに今後の課題		スポーツイベント等を通じて市民にスポーツを楽しむ機会を与えた。 スポーツ推進委員の確保。		

事務事業番号		5-2-2			
事務事業名		地域スポーツ推進員育成(スポーツ指導者)		新規/継続	継続
対象		スポーツ指導者	目的	スポーツ振興と競技力向上にあたる指導者を育成し、公認スポーツ指導者の資格者の増員及び活動の場を広める。	
事業概要		スポーツ少年団の指導者及び関係者に対し、スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会参加指導を行う。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		受講者 5人	受講者 1人	受講者 2人	
財政計画	事業費(千円)		0	0	0
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	0
教育委員会の評価		—	C	C	
成果並びに今後の課題		スポーツ少年団の指導者及び関係者に対し、スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会参加指導を行った。スポーツ振興と競技力向上にあたる指導者を育成するため、公認スポーツ指導者の資格者の増員を図る。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	3. スポーツ団体の育成・自立支援		

事務事業番号			5-3-1			
事務事業名			地区市民体育大会助成事業		新規/継続	継続
対象			幼児又は小学生以上	目的	地区市民体育大会推進協議会及び運営委員会を組織し、スポーツ基本法第23条(体育の日の行事)に基づき、地域住民の交流とスポーツ・レクリエーション活動を支援する。	
事業概要			地区市民が主体になり地域市民が自主的に参加する体育大会の開催経費を補助する。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			10月1日(日) 佐織地区:延べ1,490名 10月1日(日) 八開地区:延べ1,929名 10月7日(土) 立田地区:グラウンド不良のため中止	10月7日(日) 八開地区:延べ1,683名 10月13日(土) 立田地区:延べ1,961名	10月6日(日) 八開地区:延べ1,809名 10月12日(土) 立田地区:天候不良のため中止	
財政計画	事業費(千円)		1,444	1,160	1,318	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	1,444	1,160	1,318	
教育委員会の評価			—	C	C	
成果並びに今後の課題			地域コミュニティ機能が低下し、有事の際に地域住民が助け合う共助の意識が薄れていることが危惧されている中、体育大会を開催し、地域住民の交流の機会をつくることで、共助の意識を啓発し地域の連携を強化することができた。 地域主導型で市民体育大会が開催できるよう支援する。			

事務事業番号		5-3-2			
事務事業名		スポーツ協会補助事業		新規/継続	継続
対象		スポーツ協会	目的	スポーツの普及振興および加盟団体の活動強化、市民大会の開催等、団体の活動および運営の補助をし、市民の心身の健全な発達を図る。	
事業概要		愛西市における体育・スポーツ団体を統括し、アマチュアスポーツの普及振興と市民のスポーツへの関心を高めるのに必要な事業を行うため、団体へ補助する。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		体育協会加盟団体 一般団体 22団体 スポーツ少年団 11団体 小・中学校体育連盟 市民大会 17種目 2,727名	体育協会加盟団体 一般団体 22団体 スポーツ少年団 11団体 小・中学校体育連盟 市民大会 17種目 2,727名	スポーツ協会加盟団体 一般団体 22団体 スポーツ少年団 11団体 小・中学校体育連盟 市民大会 17種目 2,631名	
財政計画	事業費(千円)		8,200	13,995	13,850
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	8,200	13,995	13,850
教育委員会の評価		—	B	B	
成果並びに今後の課題		市スポーツ協会としてスポーツ団体の組織を総括し、市民大会を開催してスポーツ振興に寄与した。スポーツ協会が地域スポーツの中核となるような組織を目指す。 子供達の健全育成、体力向上に大きく寄与しているスポーツ少年団の活動を推進。 小中学校部活動とのコラボなどについては、今後とも協議・検討をしていく。			

事務事業番号			5-3-3			
事務事業名			総合型地域スポーツクラブ助成事業		新規/継続	継続
対象			あいさいスポーツクラブ	目的	誰もが気軽にスポーツを親しむ機会が増え、生涯スポーツ社会の実現を図る。	
事業概要			地域住民により主体的に運営される総合型地域スポーツクラブに対する活動支援を行う。			
事業実施状況			H29	H30	R1	
			会員数 390名 常時活動講座 19講座 補助金交付実績 4,000,000円	会員数 358名 常時活動講座 19講座 補助金交付実績 3,500,000円	会員数 362名 常時活動講座 19講座 補助金交付実績 3,400,000円	
財政計画	事業費(千円)		4,000	3,500	3,400	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	4,000	3,500	3,400	
教育委員会の評価			—	C	C	
成果並びに今後の課題			幅広い世代が多種目のスポーツ・レクリエーションの定期的・継続的な活動を行った。会員数の増加を目指し、新たな講座の開設を検討する。			

(令和2年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	4. スポーツ施設の活用の充実		

事務事業番号		5-4-1			
事務事業名		スポーツ施設等指定管理者事業		新規/継続	継続
対象		スポーツ施設等	目的	民間企業のノウハウを活かし、住民サービスの向上を図る。	
事業概要		体育館3館、屋外スポーツ施設6施設を一括して指定管理者制度を導入し、民間企業の持つ能力を活用し、住民サービスの向上と管理経費の節減を進める。			
事業実施状況		H29	H30	R1	
		指定管理委託料 149,520,000円 毎月モニタリング(市と指定管理者との連絡調整会議)を実施 定期的な実地調査の実施 実績評価委員会の開催(2回) 自主事業	指定管理委託料 153,909,966円 毎月モニタリング(市と指定管理者との連絡調整会議)を実施 定期的な実地調査の実施 実績評価委員会の開催(2回) 自主事業	指定管理委託料 151,539,819円 毎月モニタリング(市と指定管理者との連絡調整会議)を実施 定期的な実地調査の実施 実績評価委員会の開催(2回) 自主事業	
財政計画	事業費(千円)		149,520	153,910	151,540
	財源内訳	国県支出金			
		地方債			
		その他	11,677	13,027	12,135
		一般財源	137,843	140,883	139,405
教育委員会の評価		—	C	C	
成果並びに今後の課題		体育施設をはじめ、屋外スポーツ施設や学校体育施設の有効利用や住民サービスの向上を図った。民間企業の持つ能力を活用し、住民サービスの向上と管理経費の節減に努める。さらなるスポーツ人口の増加に繋げるため、民間企業のノウハウを活用し施設の有効活用ができないかを検討する。			

事務事業番号			5－4－2			
事務事業名			体育施設整備事業		新規/継続	継続
対象			体育施設	目的	体育施設がいつでも安心・安全で快適に利用できる。	
事業概要			体育施設が安全・快適に利用できるよう施設整備を図る。			
事業実施状況			H29 佐屋総合運動場引込及びキュービクル改修工事等	H30 佐織体育館引込キュービクル改修工事等	R1 親水公園総合体育館照明制御システム本体改修工事等	
財政計画	事業費(千円)		7,273	16,363	22,815	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	15,304	
		一般財源	7,273	16,363	7,511	
教育委員会の評価			—	B	B	
成果並びに今後の課題			体育施設が安全・快適に利用できるよう改修工事及び設計・監理委託を行った。施設修繕計画により、計画的な施設整備を行う。			

VI. 評価委員による意見

点検評価項目	評価委員意見
【学校教育課】	
クラブ活動事業	○今後の課題にもあるように、クラブ活動の経費は学校の規模によって変わってくるので、学級数や児童数などに応じて補助を行うなど検討が必要である。
防災訓練	○各学校において、避難訓練等の防災意識を高める取り組みをよく行っている。今後も各学校が地域と連携した防災訓練等に取り組むことを期待する。
ALT講師配置事業	○これからは、児童生徒の外国語コミュニケーション能力の向上が必要となってくる。課題として、ALT講師の派遣人数を増やす必要があると挙げられているため、是非行っていただきたい。
学校評議員設置事業	○学校評議員の方々には、これからも学校運営の力強い協力者であってほしい。 ○保護者や地域の方とうまく連携を取りながら、学校経営を行ってほしい。
特別支援教育支援員の配置	○年々増員している特別支援教育支援員については、これからも継続して増員してほしい。
愛西市学校給食センター整備運営事業	○愛西市の給食は、栄養面においても考えられている献立となっており、味も美味しい。
学校施設防災関連事業	○愛西市のほぼ全域が海拔ゼロメートル地帯になり、大型台風などによる水害への対応対策が必要である。
学校空調整備事業	○児童生徒に快適な環境を供するため、計画的かつ早急に市内全18校の全ての普通教室に、空調設備の導入が行われ、大変良い。今後、特別教室にも計画的に設置すると良いのではないかな。
学校規模の適正化	○地域説明会を行った事に関して、地域の方と真剣に向き合うことで、良い機会になったのではないかな。様々な意見があるが、全児童生徒が望ましい教育環境となるよう、意見を取り入れながら進めていく必要がある。

点検評価項目	評価委員意見
--------	--------

【生涯学習課】

指定管理者制度 推進事業	○民間による運営に対し、新たに文化会館が指定管理となり使用者に好評をいただいていることは大変良い。
文化財等保護 保存事業	○文化財の保護について、今後どのように事業を進めていくのか検討してほしい。
文化芸術団体 育成事業	○質の高い芸術事業を、これからも継続して市民に提供してほしい。

【スポーツ課】

スポーツ教室 開催事業	「高齢の利用者がさらに減少傾向であるため、高齢者向けの新たな講座の開設を検討」とあるが、継続して参加する高齢者は多く、成果が上がっていないとは感じていない。講座内容のマンネリ化を防ぐためにも、今後、新たな発想で新しい講座の開設を検討する必要がある。
スポーツイベント 開催	○継続的なスポーツ活動が行えることは非常に良いことだと思う。 雨天時等で、スポーツイベントが行えなくなることは非常に残念であり、雨天時でも対応できるスポーツイベントがあると良い。
スポーツ協会 補助事業	○小中学生の体力が低下傾向にあるため、地域スポーツの中核を目指す施策があると良い。更には、小中学校部活動とのコラボなども検討してほしい。

令和2年 8月20日

評価委員 水谷 瀧男 (愛西市社会教育審議会会長)

評価委員 小林 正樹 (元愛西市立西川端小学校長)

評価委員 河原 達政 (市PTA連絡協議会会長)